

専修コース申請書（新規・変更）

専修コース名【内科認定医・神経内科専門医養成コース】

- ・募集されるコース毎に記入して下さい。
- ・貴施設の専修コース全体のスケジュールを表示する表や模式図を添付して下さい。

1. 診療科（専門領域）

内科一般（代謝内分泌科、血液内科、腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、
循環器内科、アレルギー・膠原病）
神経内科

2. コースの概要

総合内科プログラム（2 年間）及び神経内科専門プログラム（3 年間）により構成される。

3. 取得資格

日本内科学会認定内科医・日本神経学会神経内科専門医

4. 長期目標

前半の 2 年間で内科一般の知識・技術を幅広く修得する。後半の 3 年間で神経内科分野における専門性をもった内科医師となる。

内科認定医及び日本神経学会神経内科専門医を取得する事を目標とする。

5. 取得手技

- ・臨床神経生理検査の実施、判読診断（脳波、筋電図、末梢神経伝導検査、誘発電位等）
- ・頸動脈超音波検査の実施、判読診断
- ・髄液検査の実施、診断
- ・神経病理学の習得（神経・筋生検の実施、診断）
- ・神経放射線診断の習得

6. 期間

5 年間

7. 募集人数

1 名程度

8. 診療科（または関連診療分野）の実績と経験目標症例数

症例数と手術件数の調査年度（平成 22 年度）

主要疾患	入院数（年間）	経験目標症例数（5 年間）
脳梗塞	240 人	250 例
脳出血	0 人	0 例
髄膜炎・脳炎	15 人	30 例
多発性硬化症	10 人	10 例
変性疾患（パーキンソン病等）	10 人	30 例
末梢神経・筋疾患障害	12 人	10 例
発作性疾患（めまい・痙攣等）	30 人	50 例

手術	件数（年間）	経験目標件数（5 年間）
神経・筋生検	3 例	5 例
筋電図、神経伝達検査、誘発 電位等	200 例	150 例
頸動脈超音波検査	150 例	150 例
髄液検査	50 例	100 例

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 5 名、非常勤 0 名

専修の指導にあたる医師 3 名

主として専修指導にあたる医師の氏名

三明 裕知

〃

診療科経験年数

22 年

10. コンセプト

豊富な数の神経救急疾患症例を経験することにより、神経救急疾患の診断・治療を習得する事が可能である。特に、当院では発症初期の急性期からの診断法・治療法を多数経験することができるのが特徴である。その他、神経内科特有の神経変性疾患等の神経難病の診断・治療も習得できる。

11. 共通領域研修について

- ・ 月 1 回内科カンファレンス
- ・ 月 1 回神経内科・脳外科合同カンファレンス